

人間社会学部／ 公共社会学科・地域社会コース	職名	准教授	氏名	田尾 真一
---------------------------	----	-----	----	-------

1. 教員紹介・主な研究分野

福岡県北九州市出身。2010年 京都大学経済学部卒業（学士（経済学）取得）、2012年 京都大学大学院経済学研究科修士課程修了（修士（経済学）取得）、2015年 同博士後期課程修了（博士（経済学）取得）。2015年 山口県の徳山大学（現・周南公立大学）に着任し、10年間の勤務を経て、2025年 本学に着任。主に経済学系の講義を担当する。

研究分野は財政学・地方財政論・政府間財政関係論。特に財政調整制度（日本でいう地方交付税交付金制度）に関心があり、各自治体の財政需要に見合った財源をいかに保障すべきか、政府間財政移転の望ましい制度のあり方について、他国（特にドイツ）の制度なども参考にしながら研究している。また、自治体財政の現状を把握することで、各自治体の抱える財政問題の明確化や、今後の持続可能な財政運営のあり方について模索することにも関心がある。

2. 研究業績

①最近の著書・論文

- ・ 田尾真一，2024，「山口県和木町における議会町づくり懇談会の取り組み」『周南公立大学論叢』(6)，pp.27-32.
- ・ 田尾真一・鈴木力，2023，「周南市における介護労働者の労働・生活実態の解明」『周南公立大学 総合研究所 紀要』(1)，pp.33-79.

②その他最近の業績

<報告書>

- ・ 山本善積・足達正男・河村穆・鈴木力・田尾真一・竹尾久男・鶴田宗之・中村富美子・福谷進・渡辺君枝，2023，『周南市民行財政白書 2023 ―市民主体のまちづくりの前進のために―』，周南市行財政研究会，山口県地方自治研究所
（担当範囲：第3章 財政の評価 3-1 地方財政の仕組みと周南市の行財政改革，pp119-131、3-3 財政指標，pp179-182、第4章 社会保障と福祉をよりよく 4-3 周南市における介護労働者の働き方と課題（鈴木力と共著），pp199-211、4-4 若い世代の定住と自治体施策（鈴木力と共著），pp212-219、あとがき，pp220-221）

<コラム>

- ・ 田尾真一，2025，「減税ポピュリズムへの警鐘」『やまぐちの自治』（148），pp.1-2
- ・ 田尾真一，2025，「「外国人旅行者向け免税制度の見直し」について」『やまぐちの自治』（147），pp.1-2
- ・ 田尾真一，2024，「所得税の基礎控除引き上げの是非」『やまぐちの自治』（146），pp.1-2
- ・ 田尾真一，2024，「「一億円の壁」問題と所得税の公平性」『やまぐちの自治』（145），pp.1-2
- ・ 田尾真一，2024，「森林環境税をめぐる議論」『やまぐちの自治』（144），pp.1-2
- ・ 田尾真一，2024，「ふるさと納税を批判的に考える」『やまぐちの自治』（143），pp.1-2
- ・ 田尾真一，2023，「“Well-being”について考える」『やまぐちの自治』（142），pp.1-2
- ・ 田尾真一，2023，「政府税制調査会の中間答申を受けて」『やまぐちの自治』（141），pp.1-2

① 過去の主要業績

- ・ 諸富徹・野口剛・河音琢郎・藤貴子・川勝健志・門野圭司・水上啓吾・八木信一・吉田健三・田尾真一・篠田剛・片山和希・三宅裕樹・天羽正継, 2014, 『日本財政の現代史Ⅱ バブルとその崩壊 1986～2000 年』有斐閣
(担当範囲: 地方財政: 第 8 章 集権と分権の狭間, pp.203-224.)
- ・ 田尾真一, 2021, 「周南市財政についての一考察 ―新型コロナウイルス感染症緊急対策も踏まえて―」『徳山大学論叢』(93), pp.225-239.
- ・ 田尾真一, 2015, 「ドイツにおける州政府の財政規律―安定化評議会による予算監視と財政再建―」『日本地方財政学会研究叢書』(22), pp.60-81.

3. 外部研究資金

なし

4. 受賞

なし

5. 所属学会

日本財政学会・日本地方財政学会・中四国商経学会

6. 担当授業科目

教養演習・1 単位・1 年・前期、経済学・2 単位・1 年・後期、仕事の経済学・2 単位・2 年・前期、暮らしの経済学・2 単位・2 年・後期、地域社会分析法 B・2 単位・3 年・前期、公共経済学・2 単位・3 年・後期

7. 社会貢献活動

香春町, 香春町行政改革推進委員会・会長
みやこ町, みやこ町総合計画審議会・会長

8. 学外講義・講演

なし

9. 附属研究所の活動等

なし